

【2026 年度/教養科目領域/基盤科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語Ⅱ		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
井上 美奈子	B311	minoue	月・火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;英語Ⅰに引続き、グローバル社会において必要な英語力を身につけ実践で役に立つ「使える英語」の修得とコミュニケーション能力の更なる向上を目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;様々なトピックを扱い鍵となる語彙や表現、内容を講義し、発音やリスニング練習を行う。受講生相互で会話練習を行い、コミュニケーション能力を向上させる内容となっている。また英語で簡単な説明文(パラグラフ)を書く基礎を学ぶ。必要に応じクイズを行いフィードバック、質疑応答で理解を深める構成となっている。また ICT 活用で AI を使った英語学習を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (                      ロールプレイ                      )				
学習上の助言	演習を中心とした内容になっているので積極的に参加して欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	英和辞典、英英辞典				
外部教材	健康科学大学英語学習サイト <a href="http://www.akakemushi.com//main.php">http://www.akakemushi.com//main.php</a>				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	様々な英語短文を読み概要や重要な情報が理解できる。			HSU (2)	
②	様々な英語短文を聞き概要や重要な情報が理解できる。			HSU (2)	
③	簡単な英文でパラグラフが作成できる。			HSU (2)	
④	時事問題について自分の意見をまとめ発言したりする。			HSU (2)	
⑤	課題について調べ発表できる。			HSU (2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業の概要を理解する。前期学習内容の復習を行う。	講義・演習	配布資料の予習をする。	0.5	
2	夏休みの思い出、経験などを文章にする。(パラグラフライティング)	講義・演習	文章を完成させる。	1	
3	夏休みに関するパラグラフを発表するための準備をする。発表に対する質問の仕方を学ぶ。	講義・演習 発表	授業内容の確認と復習をする。発表の練習をする。	1	
4	自分のパラグラフを発表する。パラグラフ発表を聞き評価や質問する方法を学ぶ。	講義・演習	授業の復習とクイズ勉強をする。	1	
5	AI のゲーム、音声、動画を使い英語の listening、 grammar、 speaking の練習をする。	講義・演習	様々な AI サイトを試してみる。	1	
6	AI のゲーム、音声、動画を使い英語の listening、 grammar、 speaking の練習をする。	講義・演習 小テスト	様々な AI サイトを試してみる。	1	
7	AI を使って英語力を測定し自己の弱点や強みを理解する。歌を使って英語を学ぶ。	講義・演習	様々な AI サイトを試してみる。	1	
8	ビデオクリップの映画や音楽で英語を学ぶ。	講義・演習	単語や言い回しの復習し小テストに備える。	1	
9	小テスト 1 Chat GPT の機能を確認し英語を学ぶ。	講義・演習 小テスト	授業の内容を復習する。	1	
10	AI や Chat GPT の文法を学び演習問題を行う。学習した内容をプリントで確認、復習しテストに備える。	講義・演習	授業の内容を復習し小テストに備える。	1	
11	小テスト 2 : 時事を学ぶ (超高齢化社会,SDGs,国際情勢、オリンピック等 )	講義・演習 小テスト	配布資料の予習をする	1	
12	時事を学ぶ	講義・演習	授業の内容を復習し小テストに備える。	1	
13	小テスト 3 : グループワーク : ツアーコンダクターになってみよう。(観光地の見どころ紹介やスケジュール作成をする。	講義・演習 小テスト	グループプレゼンテーションの準備をする。	1	
14	グループでツアーを紹介する準備をする。	講義・演習	グループプレゼンテーションの準備をする	1	

【2026 年度/教養科目領域/基盤科目群】

15	グループプレゼンテーション これまでの総復習し期末試験に備える。	講義・演習 発表	ワークシートを学習し期末テストに備える。	1.5
試	筆記試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	0	40	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	0	0	20	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	各単元を終了した翌週に小テスト (各 10 点 3 回) を授業中に行い、理解度を評価する。(小テストを受けなかった学生は再試を受けることができる。公欠の場合は 100% それ以外の場合は 50% の得点とする。) 学期末には、定期試験 (リスニング問題を含む筆記試験) を実施し、学期中に学習した内容全般について評価を行う。評価割合は総合評価の 60% にあたる。内訳は小テスト が 30%、学期末定期試験が 30% とする。				小テストの添削、模範解答と解説を配布。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①	✓	夏休みに関するパラグラフを完成させ発表する。 パラグラフライティング 10%、発表 10%。 グループプレゼンテーションを行う。 パワーポイント 10%、発表 10%				発表資料の添削と返却 発表評価
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
そ の 他	履修者の理解度によって講義の進行速度を調整する。進行の調整は講義中もしくは Teams でアナウンスするので、適宜確認すること。止むを得ずシラバスの変更が生じる場合は授業・Teams 等で周知する。 対面授業ではあるが、連絡・資料配布等に Teams を使用する。						